

Rotary International District 2570

GOVERNOR'S MONTHLY LEADER



自ら動いて いい風起こそう！

地区大会副実行委員長

戸ヶ崎 直司 (行田さくら)

地区大会実行委員長

上岡 常浩 (吹上)

地区大会副実行委員長

黒淵 陽夫 (行田)

1st April, 2013 Vol.10

雑誌月間

国際ロータリー第2570地区 2012～2013年度
ガバナー月信 2013年4月1日 第10号



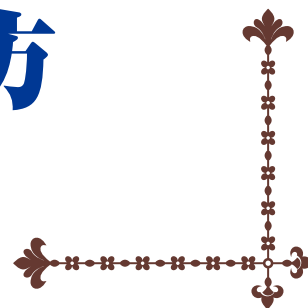


■ガバナーメッセージ

鈴木 秀憲

「3D」の^み視方・考え方

Three Dimensions



私は自動車が好きだ。勿論、こんな便利な道具は他にはない、何と言ってもこれによって自分の行動範囲がぐっと広がるのだから。

しかし、それだけではなく、この繊細な機械は、操縦する人の心を映してくれていると思っています。乱暴に扱えばそれなりに、丁寧に扱えば非常に快適さを返してくれます。

このような自動車談義を始めると、きりがないので他の紙面に譲り、今回は多くの自動車に付いているカーナビゲーションシステム（以下ナビと略す）について考えてみたいと思います。

目的地の住所又は電話番号を入れると、瞬時にこれから行くべきルートを示してくれます。親切に音声案内まで付いていて、その通りに進めば、間違いなく目的地へたどり着く。おまけに到着時間まで予測してくれる。ま～大変便利なものです。

ところで、他の方の自動車に乗せて頂いて気になる事が一つあります。

殆どの方のナビ画面が2D画面になっている。これは地図が平面図で、飛行機から真下を覗いている様子です。ナビ画面は横長なので、進行方向に対してあまり遠くまで見通す事が出来ません。例えば500m画面（5万分の1—1cmが500mを表す）の場合、ナビの大きさにもよりますが、一般的なナビの大きさでは進行方向の2～3km程度先しか見えません。あまり必要ない左右は6km程見えるのに…。これでは、自分の行き先を良く見る事が出来ません。

これに対してナビを3D画面にしておくと、同

じ500m画面で進行方向は広域で7～8km先まで見通す事が出来ます。画面中心部が500m画面なので、画面中心より手前の自車位置では500m画面より詳細が分かります。自車位置の詳細度が2Dの500m画面と同じで良いなら、3Dは1km画面で対応出来るので、進行方向は広域で15km位先まで見通せることになります。

3D画面は地図を斜めに見ている鳥瞰図で、つまり飛行機から行く手の前方を見ている様子です。つまり、行く先は大まかに遠くまで見通す事が出来、身近な所に近づけば近づくほど詳細が分かるシステムです。

例えば5km先に障害（渋滞や工事中等）があっても、2D画面の場合にはその近くまで行かなければ障害の存在が分かりませんが、3D画面の場合だと現在地でその状況が分かるので、そこへ行くまでに迂回等の措置をする事が出来ます。こう言うと、先を見なければもっと広域画面（例えば1km画面や2km画面、5km画面等）にして



おけば良いと言うかもしれませんが、それでは自分の近くも広域画面になり詳細は分かりません。詳細と広域を一々切り替える事など、する人はいないでしょう。

いま述べた事は、自動車のナビに関してですが、ナビ以外でも（日常生活でも）このようなものの視方をしたらいかがだろうか。「遠い先は大雑把でも良いから常に見通しておき、徐々に近くなってきたらそれに応じて細かく検討を加える」という事の方が良いのではないかと思います。遠い先の事が見えないで細かく詰めると、大勢が見えてなくて、近くになって大きく修正する必要が出る場合があります。

「進むべき方向に対して周囲の大まかな状況を考慮し、自分の立ち位置を確認しながら、物事を進める事が大切である」と考えます。

一度、ナビ画面を3D画面に切り替えて試してみたらどうでしょう？

ナビとは関係ありませんが、同じ自動車の話

で、行く手300m程先の信号が赤になっても、アクセルペダルを踏み込んだままスピードを緩めない車を見かけますが、この車は信号間近になってからブレーキをかけて停車します。私は、周囲の様子を見ながらアクセルペダルから足を離して惰力走行に切り替えます。徐々にスピードダウンして信号近くになって赤から青に信号が変わった時点で軽くアクセルペダルを踏む。片側2車線の道路の場合には、先程私を抜いて行き、信号間近かでブレーキを踏んで止まり、青信号になって慌てて追っかけて来る車をしり目に、私はゆったりと走り抜けます。

この話をした時、あるロータリーアンが「行く先の信号が赤になってもアクセルペダルを踏み込んだままの人は、自転車の場合でも行く先の信号が赤になってもペダルをこぎ続けるのだろうか？」と仰った。分かりやすい例えです。

何れにしても、「先を見ながら運転したい、先を考えながら生活したい」とつくづく思います。

ロータリー雑誌月間によせて

ロータリーの友地区代表委員 **磯田 力彦** (新所沢)

4月はロータリーでは雑誌月間に当たります。会員の皆さんにもっとロータリーの友誌を知って頂きたい。また友誌に親しみ読むことで毎月いくつかの感動を得る事ができるかもしれない。更に友誌を有効に活用する事でクラブの活動が良い方向に向かうのではないかと考えます。そこで雑誌月間に当たりロータリーの友の概要を述べたいと思います。

ロータリーの友委員会、友事務所の組織について

先ず、ロータリーの友委員会ですが、委員会構成は委員長・副委員長、RI理事、RI理事エレクト、特別顧問、顧問、34地区の地区代表委員、そして編集長という事です。この友委員会から直接監督される位置にロータリーの友事務所があり友誌の編集、発行を行っています。友事務所は実務を担当する部門として平成22年3月に法人化され、友委員会による監督を受けながら、我々ロータリアンに対して国内外の情報を提供する事を主たる役割として活動しています。



ロータリーの友地区代表委員の任務

ロータリーの友地区代表委員は友委員会の構成委員であり、「友誌」に関してガバナーの代理者として友委員会において提言を行います。また地区とロータリーの友を結ぶ為に以下の任務を負っています。

- ① 地区内ロータリアンに対して、友事務所が発行する「友誌」の有効活用を促しその活動に取り組む。
- ② 地区及び地区内ロータリークラブの活動やその他の情報収集に努める。
- ③ 地区内情報を友事務所編集部に送り、その取材に協力することで「友誌」の編集に協力する。
- ④ 毎月の「友誌」を精読しその内容について意見や感想をレポートとして友事務所に提出する。

以上に述べたように友地区代表委員の任務は多岐に亘っており、結構大変な仕事だと思います。今年度では昨年8月29日に当地区初めての「ロータリーの友セミナー」を開催し、「友誌をよく読み活用しよう」をテーマに友誌の有効活用を皆様に訴えました。また、4月雑誌月間には各クラブへお邪魔しての卓話で「ロータリーの友」をアピールしたいと考えております。

写真左上:「ロータリーの友セミナー」でのRLIディスカッション

写真左下: 昨年8月29日、国立女性教育会館で開催された「ロータリーの友セミナー」



「ロータリーの友」誌の歴史

1952～53年度から日本の地区が2地区に分割されるという事で両地区の連絡を密にするための機関紙として「友誌」の発行が決まり、1953年1月に創刊されました。1980年7月よりRI公式地域雑誌の資格を得た事。2002年7月からB5判をA4変形判に変更した事。2003年7月にロータリーの友のホームページを開設等々激しい時の流れの中、友誌もそれぞれの時代の要請に答えて歩んで来ています。

購読の義務

2010年度手続き要覧P26、ロータリークラブ定款14条には、各会員は会員身分を保持する限り、RI機関紙或いはRI公式地域雑誌を購読しなければならないと購読の義務を定めています。

クラブでの「友誌」活用について

クラブ雑誌委員会（或いは広報・雑誌委員会）はクラブ例会にて毎月の「友誌」の記事を会員が興味を持つように紹介する役割があります。また、友誌に対する会員の関心を喚起し、新入会員のオリエンテーションに友誌を利用する事も肝要です。クラブ会長も会長の時間に友誌から引用してロータリーを語ることも是非行って頂きたいと考えます。

友誌の編集方針と企画

友誌を開くとその編集構成はヨコ組みがRI指定記事や特別月間の特集、地域雑誌としての公式的記事が中心で掲載されており、タテ組みは全国のロータリアン仲間のコミュニケーションの架け橋となる投稿記事が中心です。2012～13年度の編集企画は、①会員の投稿写真で表紙を飾る事、②意見発表コーナーとして「同論・異論」、③ロータリアンの職業観を伝える「この人この仕事」、④新会員の為の「はじめの一歩」④ Rotary Moment（心に残るロータリー物語）、⑤フォトコンテスト等が特色です。

結びに、「あなたも友誌へ投稿を！」

友事務所編集部では皆様の投稿を待っております。記事を「友誌」に載せるには生きた写真と簡単明瞭な原稿がポイントです。奉仕活動等の投稿は1ヵ月以内に写真と原稿を、また俳句等でもよろしいですから、送って頂ければ必ず掲載されますのでよろしくお願い致します。

我がまち自慢

第2グループガバナー補佐 細田 優 (朝霞)

当第2グループのIMは、鈴木ガバナーが提唱されました「地域の活性化・郷土愛の向上」に因み、「我がまち自慢」と題し、知って欲しい伝統・文化・偉人・名所・旧跡などをテーマとし、グループ内5市各々大いに自慢して頂きました。

ご存知の通り、我々の地域は古くは川越街道による陸運、新河岸川による舟運が活発に行われ発展してきました。江戸以降それらにより塩・肥料等が運び込まれ、江戸へは米・麦・野菜等を供給したそうです。そんな中、各市にはIMのテーマとなる様々な伝統・文化が生まれ、大切に伝承されてきました。当日発表をして頂いた以外にも、多くの事を次世代の方に知って頂き、伝承していくことが大切であると考えます。

第2グループのIMは、富岡勝則朝霞市長、鈴木ガバナー、そして地区役員・来賓の皆様にご臨席を頂き、また多くのグループ内会員の皆様のご参加を得て2月23日、朝霞市民会館（夢パレス）を会場に開催されました。このIMが大変盛大に催されましたこと、主催者として厚くお礼を申し上げます。



高橋貞親 IM 実行委員長 (朝霞)

鈴木秀憲ガバナー



来賓の富岡勝則朝霞市長

第2グループ重鎮、鈴木・西川 PG





記念講演「地域の歴史」小谷次郎先生



志木・志木柳瀬川 RC「川街クリーンとカップとロータリー」について 醍醐治江・坂間智子



新座・新座こぶし RC「野火止里神楽」について 石山裕雅氏



和光 RC「童謡詩人・清水かつら」について 石井 彰

このIMがロータリアンだけの自己満足に終わることなく、ロータリアン一人ひとりがテーマへの認識を一層深め、地域愛を多くの人に持って頂くよう、各クラブ・実行委員長にもお願いしてありますが、具体的な方法として、当日発表されたことやそれ以外の我がまち自慢を小冊子にまとめ、5市の中学校に配布したいと考えております。それが、次世代の青少年に伝承し守ることに少しでも関心を持って頂き、ロータリークラブの公共イメージ認知度の向上につながると思います。

結びに、奇しくもIM当日は1905年2月23日、108年前、ポールハリス他3名の会合から始まったロータリーの誕生日です。今では200以上の国と地域に広がり、会員総数123万人に達しました。この記念すべき日に、第2グループの友愛を深められたことと、皆様のご参加に感謝を申し上げまして、主催者の報告と致します。

誠にありがとうございました。



富士見 RC「水子貝塚と難波田城」について 柳田政男



朝霞・朝霞キャロット RC「溝沼獅子舞」について 相澤良平

東日本大震災の現状とこれから

第1グループIM実行委員長 中嶋 栄(東松山)

国際ロータリー第2570地区第1グループのIMは、3月2日(土曜日)松山市民活動センターのホールに於いて開催されました。午後2時に竹間暎ガバナー補佐の点鐘で式典が開催されました。東松山RC名誉会員であり、東松山むさしRCの会員でもある森田光一東松山市長をはじめ、鈴木秀憲ガバナー、他多くのご来賓と第1グループの会員の皆様、100名をえる埼玉県立松山女子高校関係の皆様のご参加を頂き、盛大に開催されました。

竹間ガバナー補佐からIM実行委員長を指名された時に「IMでは東日本大震災の現状を皆様に知ってもらいたい、青少年に希望が持てるような事がしたい」と言われました。3月11日の東日本大震災から2年を迎えます。未だに復興の兆しが見えないように思われます。IMを通じて被災地の現状を知って頂き、被災された青少年に支援と希望を持って頂ければと、テーマを『東日本大震災の現状とこれから』として準備を進めてまいりました。

IM記念講演の前に東日本大震災で亡くなられた多くの方々に黙祷を捧げ、復興を祈りました。講師の佐々木数馬さんは社会福祉法人わかたけ学園に勤務しています。宮古RACに所属し、国際ロータリー第2520地区、ローターアクト地区代表をされています。佐々木さんの自宅は田老地区ありましたが、40メー



ルを超える大津波により10メートルの世界一の堤防も家も流されてしまいました。たまたま出勤前に自宅にいて大地震が起こり、すぐに祖母を連れて避難して、幸いに命は助かりました。大津波にのまれていく街や家々、流されていく車の動画や写真、津波が引いた後の破壊尽くされた街の姿には言葉もありませんでした。佐々木さんは今、仮設住宅に住んでいますが、田老地区の人たちが集団移転か元の土地に戻るか、まだ決まっていません。佐々木さん自身被災者でもあり、復興支援などローターアクトとして活動しています。

白間忍さんも社会福祉法人若竹会に勤務しています。宮古RACの幹事として活動しています。大地震による津波で自宅は一階が壊されてしまいました。家族は無事に避難されましたが、その後、被災生活をしている中、母親が階段から落ちて足を骨折する、と言う二次的被害に遭いました。被災者の中には怪我や病気に罹り、亡くなる方もいます。白間さんはRACの

第1グループガバナー補佐 竹間 暎



鈴木秀憲ガバナー



謝辞 真下和男 PG





東日本大震災について語る、
第 2520 地区ローターアクト地区代表 佐々木数馬さん、
宮古ローターアクトクラブ幹事 白間忍さん

活動で復興支援をされています。宮古市長は「元気があれば何でもできる！」を合言葉に復興に力を入れているそうです。町全体で復興を目指していく姿を感じる事が出来ました。お二人から東日本大震災の映像を通じて現状など話して頂きました。

続いて、西川武重郎パストガバナーに「ロータリー希望の風奨学金」について講演を頂きました。東日本大震災の被災遺児の大学生、短期大学生、専門学校生に入学してから卒業までの間、月額5万円を継続して給付し、返還を求めないものです。西川ガバナー当時の10名のガバナーで発足、約4億2000万円の義援金が寄せられました。西川パストガバナーから被災遺児に対する熱い思いを感じました。

記念演奏は埼玉県立松山女子高等学校音楽部による合唱を演奏して頂きました。全国合唱コンクールで銀賞を受賞、美しい歌声がホールいっぱいに響き渡り、被災された方に届いた事と思います。



県立松山女子高音楽部 100 名の圧倒的スケールのコーラス

「ロータリー希望の風奨学金」について 西川武重郎 PG



このIMでは懇親会を止めて、その費用を被災地の青少年の為に使わせて頂きました。登録頂いた会員の皆様には、岩手県名産の南部せんべいをお土産に致しました。被災地への支援の一部として、また、南部せんべいを食べて被災地の方の事を思って頂ければと考えました。

第1グループのIMが多くのロータリアンにご参加頂き盛大に開催されました。第1グループの会長・幹事さんには、東日本大震災被災青少年への支援に対して、ご理解、ご協力を頂き進める事が出来ました。ロータリーの友情に深く感謝申し上げます。

結びに、ご来賓の皆様、宮古RAC、会場を盛り上げて頂いた松山女子高校の皆様、ご協力頂きました各クラブ会員の皆様のご健康とご活躍をお祈り致します。また、東日本大震災被災地皆様の復興と幸せをお祈り致します。

ありがとうございました。

1枚の書き損じ葉書も集まれば

岡部 RC 会長 井上 敏夫



深谷市には、8年前の1市3町の合併に伴い現在5つの各々特徴のあるロータリークラブが存在します。数年前から各クラブでおこなっていた書き損じ回収事業を順番で取りまとめ担当クラブを決め全体で「ネパールに学校建設」を行なうようになりました。

本年は、私達岡部ロータリークラブが2度目の担当です、6年前私が国際奉仕委員長の時大変苦勞して取りまとめ担当をした事を思い出しました、まず1月に市内各家庭に回覧する「書損じハガキによる募金活動のお願い」チラシ、回収袋の原案作成し4クラブの担当者への校正確認承諾作業、しかし皆様忙しいのでなかなか返事がもらえず、最終校正まで本当に大変でした。作成後に深谷市への配布許可申請そして年末には、地元自治会連合会への挨拶、協力依頼、と忙しく年末を迎えました

年明け初めの回覧板の中に、作成したチラシがありホットした気持ちになりました。年賀葉書の抽選後、2月の回覧に予定通り回収袋が回覧されました。深谷市には約4900以上の隣組の班があり、回収袋は、各々の地域公民館に集められ、それを5クラブが担当公民館に3月始めに回収に行きます。当初は、それを5クラブの会長担当委員が一同に集まり、集まった品を整理集計していました、本当に大変な作業でした、宛名間違いで帰ってきたハガキ、使用済みの切手、汚れた商

品券、使いかけのテレホンカード……使える浄財品の仕分けは、多くの時間を費やしていました

岡部が担当した6年前からは、各クラブで集計現金化まで行なう事に変更しました。これにより会長・担当委員の負担がかなり軽減できました、それと共にクラブ全体で行なっている事業意識が高まり浄財品の現金化には、全員の協力で必要だと言う事が実感されたと思います。当時、会員の中には、自分の売名行為に利用しようと思われる行動をとる会員もいましたが、5クラブ担当者が結束し正しく進めました。

そして本年度、再び岡部の担当となりましたが、再びチラシの校正に当たり昨年の文書の浄財品にハイウエーカードが記載されていました。前年担当の方々の意図が理解出来ず、私は、この文を除外し、また募金を学校建設だけでなく災害時の復興支援等にも使える文面に変更し、ロータリークラブの活動及びを会員募集要項を加え本年度5クラブ担当者校正のもと作成し1月の回覧板で告知致しました。

小さな善意は結集され大きな善意(昨年度は約144万円)となり、ネパールでの学校と言う形になりました。「深谷市民支援校舎」は一昨年まで2つの学校が完成しました

今後も深谷5クラブが協力しあい、さらなる奉仕活動を行ないたいと思います。



ネパールに学校を建設する！

国産木材の需要拡大がききぬ神奈川事業への協力により、本ホールに新しい姿が完成しました。

雄鷹クラブ 深谷ロータリークラブ
 深谷東ロータリークラブ
 深谷ノースロータリークラブ
 岡部ロータリークラブ
 川本ロータリークラブ

学校が建設される流れについて。

第2570地区 国際奉仕部門 世界社会奉仕委員会を通して埼玉ユネスコ協会へ寄付し、積立てた資金で学校建設が進行します。

9月下旬	各クラブ会長、幹事、国際奉仕委員員
10月	運営委員会と行合.
11月	5クラブで印刷物の行合会。(河板版用チラシ、回収袋等)
12月	書き出しが各クラブの通知せしチラシ配布。
2月1日	回収袋を回収して戻る。
2月中旬	5クラブで行合会。
3月	回収 各クラブが担当市民館へへ回収に向う。
3月下旬	5クラブの集計結果報告会。(現金受入し待時)
4月	地区大会で発表
5月	次年度へ発展会

深谷コータリークラブ 総
 深谷東コータリークラブ 総
 深谷ノースコータリークラブ 総
 岡部コータリークラブ 総
 川本コータリークラブ 総



國際NPO華人、澳門、台灣及香港
 總匯 香港 廣東 廣州
 香港中環皇后大道中100號10樓1001室
 Tel: (852) 2537 0000 Fax: (852) 2537 0001

※ 弊社は、以下に示すすべての条件のことに同意を申し上げます。当社は、本サービスの提供に必要と認めた場合、貴社の個人情報を第三者に提供することがあります。

また、過去もおります。郵便振替にて201,100円ご返金頂きました。ご返金有難うございます。

つきましては、貴クラブの常任会の人会費、主催会費、会務費、管理費など
をご寄付願います。

22

資料來源：根據本會調查資料，整理而成。

年度	常歩歩数 (m)	芝居歩歩数 (m)	合計歩数 (m)	歩数差
2008-2007	474,300	0	474,300	
2007-2006	1,140,350	1,100,380	-39,930	ハイブリッド歩数
2006-2005	1,412,740	1,300,800	111,940	
2005-2004	1,122,900	1,080,200	-40,151	デュアル・距離歩数
2004-2003	568,900	727,640	158,740	
2003-2002	777,100	910,140	133,040	
計	5,168,340	1,100,800		



大きな歓迎の垂れ幕



深谷市民の協力を明示



■世界平和フォーラム

世界3ヵ国で推し進める「世界平和フォーラム参加報告」

朝霞ロータリークラブ 大畑 茂

アウンサンスーチー女史のキーノート
(ホノルル)

§1 「平和に至る道」のはじまるところ

復員後学窓に戻り、日本古代思想を渉猟した故父は、「人と人・人と自然とをよりよく生かしあえる人（平和人）こそが、恒久的な平和を現代に築く者である」と結論しました。また、母は、幼い弟妹を守り空襲を逃れたこと、戦火に友人を失ったこと、勤労働員のことなどを、昨今の緊張する世界情勢に重ね、「二度と若者を戦地に送ってはならない」と孫に語ります。

「私の世代は、故父の思索と母の思いに何を添えて次の世代にこの世界を託せばよいのだろうか。はたして平和の芽吹き育つところはどこなのか」と考えてきた私は、田中作次国際ロータリー（RI）会長エレクト（当時）が、2012年1月の国際協議会において、RIテーマ「Peace through Service（奉仕を通じて平和を）」の発表と共に「ロータリー世界平和フォーラム」の開催を告げたとき^{※1}、ベルリン・ホノルル・広島に学びに行くことを決意しました。

§2 二つの「平和宣言」の採択

「私の世代は、戦後に日本で育った最初の世代です。平和を重視するのは当然のことだと思います^{※2}」と述べる田中RI会長は、その言葉通りに、ベルリンでは「国境のない平和（Peace Without Borders）」を、続くホノルルでは「平和にいたる緑の道（The Green Path to Peace）」をテーマに掲げ、二つの「平和宣言」を採択しました。この宣言は、「平和の実現のためには寛容の精神が必要なこと（ベルリン宣言）」と「明日の平和は今日の行動によって形づくられること（ホノルル宣言）」という、過去・現在・未来に亘る積極的な行動をロータリアンに提起しています。

§3 「平和」に思いをそえて

壁に銃弾の痕が深く残るベルリンの街に映えるクリスマススの灯にぬくもりを感じながら、また、戦争と平和の象徴ともいべき真珠湾の「回天」と降伏調印式場となった戦艦ミズーリに吹く潮風にわだつみのこえを聞きながら、私の胸の中には「ひとりひとりの胸の中に平和を希求する心があってこそ、平和とは初めて得られるものであること。しかし、得難いものだからこそ、平和のあるべき姿を常に語りあい、語り継いでゆかなくてはならない」との想いが湧いてきました。

§4 広島世界平和フォーラム（5月17-18日）

風薫る5月。いよいよ広島でのフォーラムが開催されます。テーマは「平和はあなたから始まる（Peace begins with you）」。「毎日の生活と日常生活を営む場所とに平和を広めてゆこう」という視点からプログラムの充実が図られ、フォーラムへの登録もすでに始まっています。

そして今、私は、「人生をかけて、奉仕を通じて平和を築くロータリアンであろう」というテーマを自身のこのころの中にみつけました。そして、広島フォーラムへの参加を通じて、「〈平和構築者〉^{※3}として次の世代のために何ができるか」を考えてゆこうとしています。

※1：「国際ロータリー・ニュース」2012年1月16日

※2：「ロータリーの友」2012年7月号「RI会長メッセージ」

※3：「平和宣言」の結びの中の言葉



財 団 表 彰

メジャードナー



吉田 恒 (岡部)



真下 和男 (東松山)



小林 一夫 (皆野・長瀬)



井上 敏夫 (岡部)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



石井 照典 (川越)



高柳 育行 (本庄)



木暮 亨 (深谷東)



米 山 功 労 者



メジャードナー 105回

吉田 恒 (岡部)



4回

吉崎 秀夫 (川越)



3回

阿部 晋一郎 (富士見)



2回

下山 定夫 (富士見)



2回

山城 盛 (富士見)



2回

深谷 雅良 (富士見)



1回

柳田 政男 (富士見)



1回

桑原 福治 (富士見)

新入会員のご紹介

(所沢西RC)



萩野 陽一
萩野工業所 一級建築設計事務所
代表取締役
(紹介者) 本橋 正夫

(所沢西RC)



師岡 友次
(有)師岡建具店
代表取締役
(紹介者) 本橋 正夫

(所沢西RC)



中 毅志
(株)ティーアンドティーサービス
代表取締役
(紹介者) 本橋 正夫

(新狭山RC)



大羽田 哲郎
(株)オオハタ建設
代表取締役
(紹介者) 伊藤 宜明

(寄居RC)



赤坂 匠康
日進運輸(株)
代表取締役
(紹介者) 小宮 俊光・鈴木 光則

(寄居RC)



大久保 知明
不動産賃貸業
(紹介者) 萩野 旺

(川越RC)



大石 英徳
NTT東日本-埼玉 埼玉中央西営業支店
営業支店長
(紹介者) 可児 一男・梶川 昭一

(川越RC)



杉山 剛
野村證券(株) 川越支店
川越支店長
(紹介者) 横川 勇・馬場 弘

(所沢RC)



根本 克幸
(株)JTB関東
営業課 課長
(紹介者) 増田 武英・本橋 嘉雄

(羽生RC)



諸井 真英
諸井真英事務所
元新聞記者
(紹介者) 田辺 正一・平野 賢治

ガバナー月信では米山功労者で「メジャードナー」の表現をしまりませんが、今月号より10回以上の功労者を「メジャードナー」として報告をさせていただきます。なお、本年度になってからメジャードナーとして表彰された方は、次の通りです。



金子 千侍 (秩父)	吉田 恒 (岡部)	戸谷 全克 (本庄南)	宮前 英雄 (皆野・長瀬)	蒔田 秀夫 (秩父)
115回	105回	18回	17回	16回



小林 熊二 (熊谷)	鈴木 勲二 (和光)	佐川 茂 (皆野・長瀬)	井上 豊 (秩父)	鈴木 秀憲 (吹上)
16回	13回	11回	10回	10回

元荒川の桜並木

「サイタ サイタ サクラ ガ サイタ !」

4月8日の入学式・始業式は毎年桜が満開の日が多く、国語の教科書は吹上の桜のことを載せてあるのだと思った昭和生まれの一年生。

生まれも育ちも生活も元荒川と桜と一緒に。今戦前戦後の移り変わり様は何か絵巻でも見て来たような年になりました。

往時吹上区を流れてた荒川は寛永6年(1629)熊谷市久下で瀬替行われ元荒川となり、水源は雷電池の湧水となりました。蛇行の多かった川筋は昭和7年に「堀込河道」に改修されたのが現在の元荒川です。掘り下げた川なので堤防(土手)は無く、桜は兩岸の小道外側に植えられましたが、昭和20年燃料として伐採された過去があります。昭和28年より町の有志が小道内側に500本余り、その後数度加植され樹齢は60年を数える桜並木となりました。



吹上の桜は元荒川あつての桜でもあります。かつて郊外であった川は湧水のため、水温は年間12℃前後、川底は砂、水位は浅く流れは緩やか、清流故水中に花を付ける梅花藻や、今では県の天然記念物指定のムサシトミヨ・タナゴやアユ・エビなど生息し、子供達には四季に対応した格好の遊び場でした。昭和22年のキャサリン台風では荒川堤防が決壊し土砂が流入。昭和30年より地域の発展に伴う社会環境は郊外だっ

た川を町の中心に囲み、水質にも変化のきざしが見られるようになりました。

昭和40年代より町をあげての快適環境づくり活動は「埼玉の自然100選吹上の桜」に撰定され、市民の川と桜に対する認識が高まります。

昭和53年第1回桜祭りは川の清掃から始まり、今年で34回目を迎えます。2.6kmの並木は花の佳麗を競い遊歩道や川を天や地を覆い川面を染め、夜の万灯は夢を誘い想いを巡らします。

吹上の国道17号、中山道と八王子千人同心道交差、高崎線は横浜・小田原へと直通列車など交通の便良く、新佐賀橋など市内17の橋や句碑めぐり、ウォーキング、各種文化団体など活用されています。

桜まつり：毎年4月、第2土・日



表紙写真：副幹事・斎藤 恒(行田さくら)

文と写真：元吹上町文化財保護委員会委員長 吉田 良一

ガバナー月信 第10号

2013年4月1日発行

今月の表紙：

地区大会 地区大会 地区大会
実行委員長 副実行委員長 副実行委員長
上岡 常浩 戸ヶ崎 直司 黒淵 陽夫

2012-2013年度ガバナー **鈴木 秀憲**

国際ロータリー第2570地区 地区事務所

〒355-0028 埼玉県東松山市箭弓町2丁目5番14号 紫雲閣3F

TEL (0493) 21-2570

FAX (0493) 21-2571

E-mail = d-office@mail.rid2570.gr.jp

Website = http://www.rid2570.gr.jp/2012/